

この度は、

助けていただき
本当にありがとうございます。

あ、頭を上げてくれよ。

よかったよ
薬が効いてくれて。

人探しのため
里を出たのですが、

途中で食料が尽きてしまい、
森をさまよっていたらいつの間にか…

この御恩

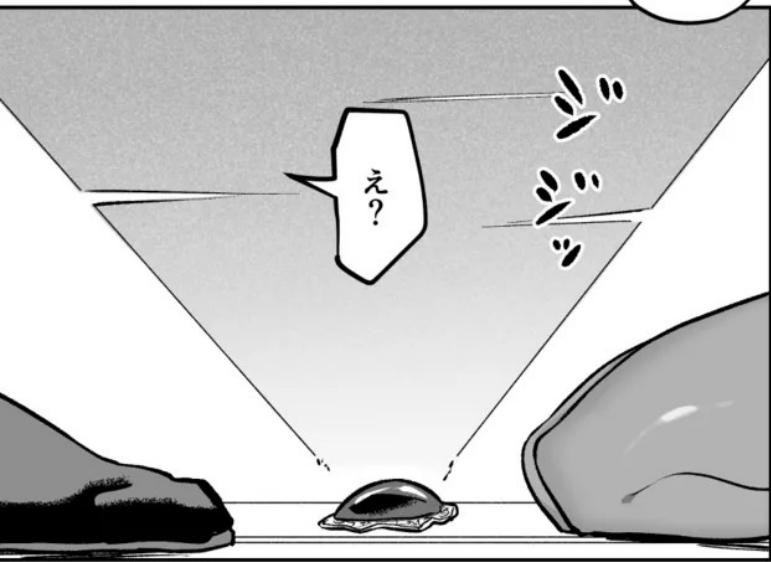
全身全霊で
お返しさせていただきます。

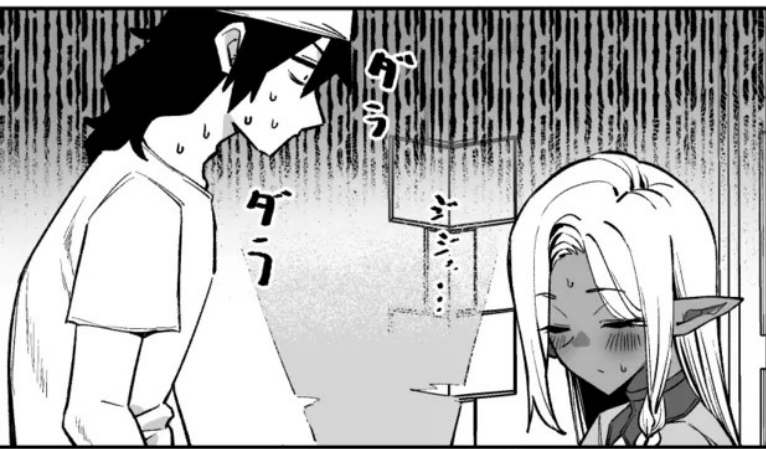
いやいや!!
いいって。

そういうわけには
まいません!!

ホントにいいから。

…僭越ながら。







ヒトの男性とは
そういうものだ

恐縮です...

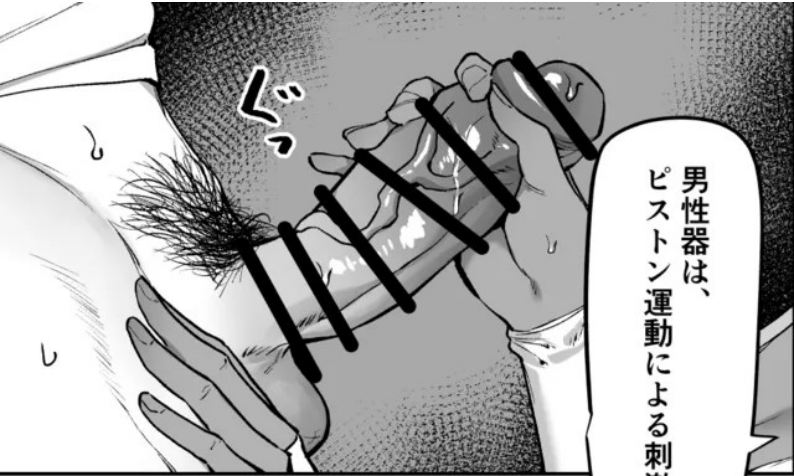
里で学んでおります。

ワタクシが
申し上げたいのは、

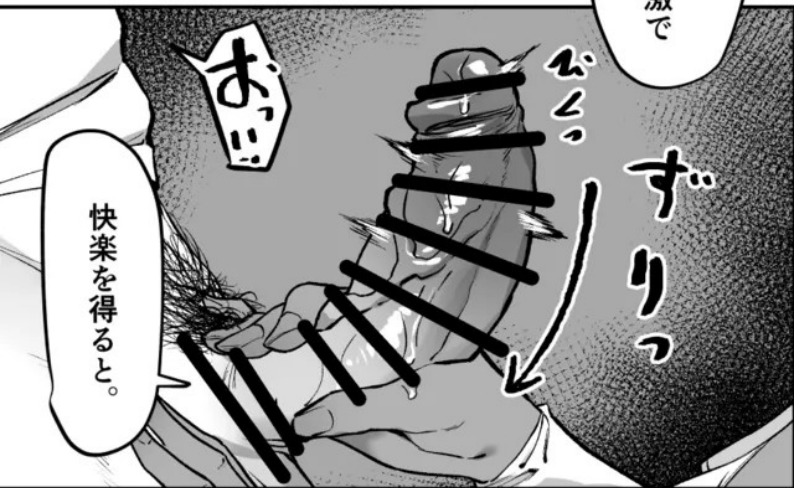
わ、ワタクシの
カラダが、

お礼足りぬのでは
と云ふに、ワタクシは
お礼に値しません。





男性器は、
ピストン運動による刺激で



快感を得ると。
ずりっ



実際に目にするのは
初めてですが、
生態は心得ております。



気持ちいい…!!

俺の手とは全然違う。



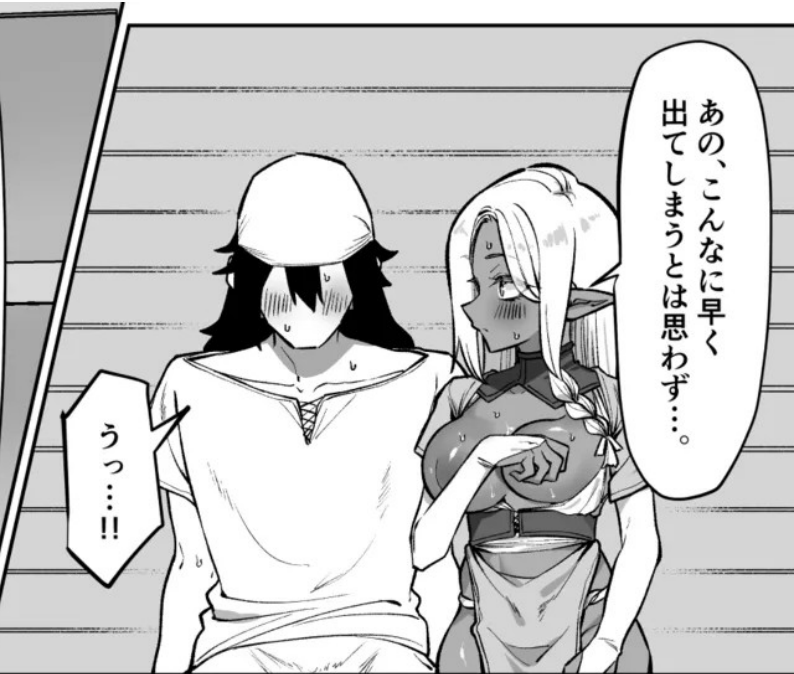
手がしっとり
吸い付いてくる。

綺麗な手だ。



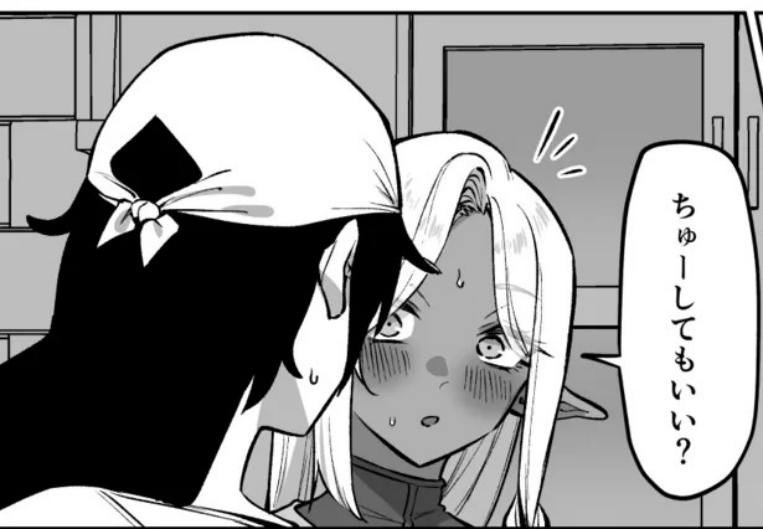
ただ、

これでは、命を助けていただいた
対価には到底及びません。

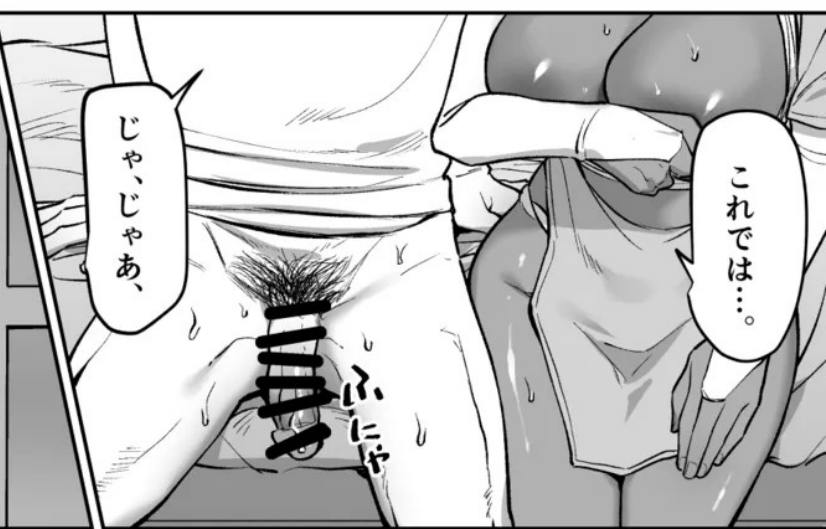


うっ…!!

あの、こんなに早く
出てしまうとは思わず…。

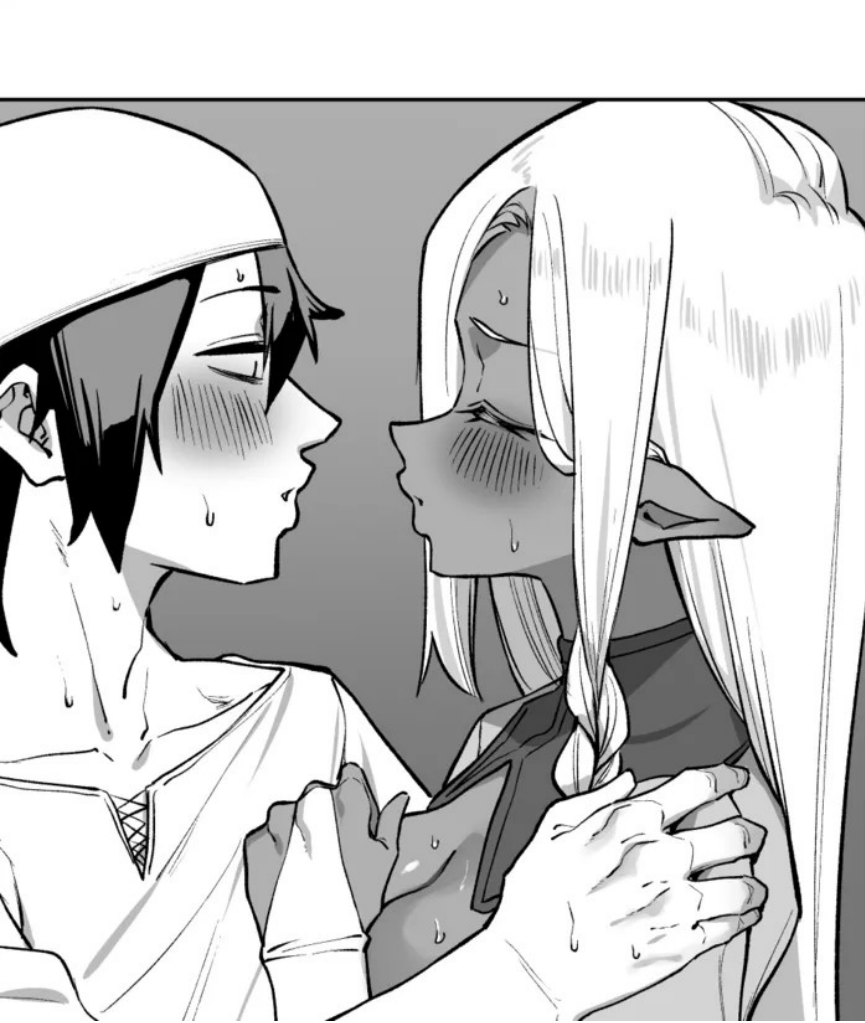


ちゅーしてもいい？



じゃ、じゃあ、

これでは…。



ちゅー…。
口づけのことですね。



はい、構いません。

我々の種族は、長命ゆえに繁殖意識が低く、

そのせいか、オスの生殖器がヒトよりも小さく貧弱です。

メスの生殖器もそれに合わせたものになっておりまして、

つつまじり、なにを申し上げたいかというと、

我々のナカは、ヒトのそれに比べて狭いので、

痛かったらすぐに
おっしゃってください。

しゅりゅ

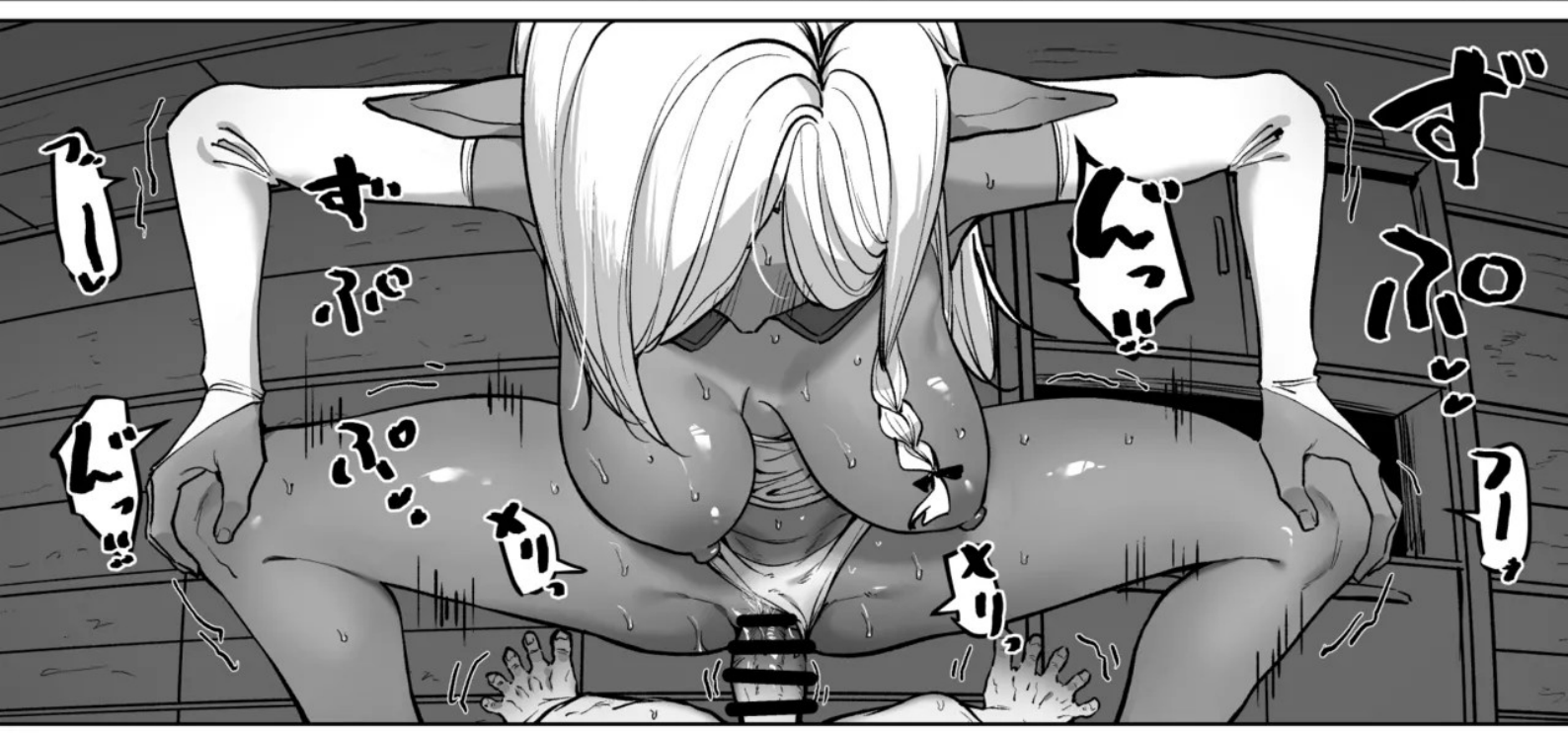




あ、いじって…。
ポツ

入口の大きさが
全然違うのですが、
ポツ

ほ、ホントに
入るのでしょうか…。
ポツ



ず
ぽ
ぽ
ぽ
ぽ
ぽ



お
い
い
い
い
い

ズ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ



腹の中の異物感は拭えませんが、大丈夫です。



あ、あの無理しなくても。

いいえ。

フーッ！！

フーッ！！

ふる

ふる

ふる



動きません。



ズガン！！



ぶっぶっ



こ、これ…!!

ほちゃん
ほちゃん
ほちゃん
ほちゃん



締め付けられる…!!

おっ
おっ



ナカのサイズが明らかに俺のと合っていない。

無理やり押し広げてしまっている!!

ズリッ
ズリッ



しっろお



外界との交流を断ち、
森の奥地で暮らしている謎多き長命種。

魔術の扱いに長けた孤高の存在。
それが、俺の知る「森の民」だ。

そんな存在が、

俺のち〇こを胎はらの中に入れてる。

ほん

ほん
ほん

ほん
ほん

ほん

ほん

ほん
ほん

ほん
ほん





あの、



やばい。
このままだと中に...!!



もしかして、
射精を我慢なさってますか？



中出しし放題でいいからまあ。



ご安心ください。



我々は
ヒトのコは孕みません。

スツ



どん、
どん、

ふん、
ふん、
ふん、

おん

おん

どん、



そのあとも俺は、



3回
中出しさせてもらった。



だ、大丈夫か!?

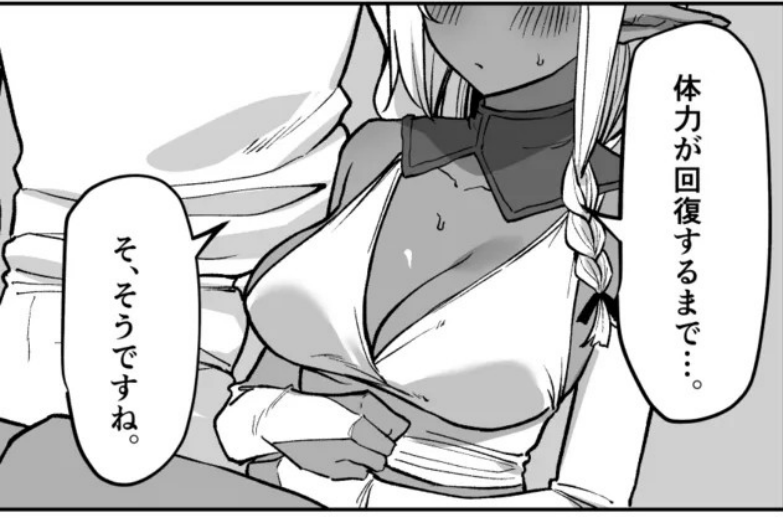
ご、ごめん!!
痛み上がりなのに。

それはよかつ…



はい…

ご満足いただけただけでしょうか。





お、おい!!

大丈夫か!?

えっ!?!



あなたは
命の恩人です!!

お礼をさせてもらわないと
気が済みません!!

いや、
いいよ別に。

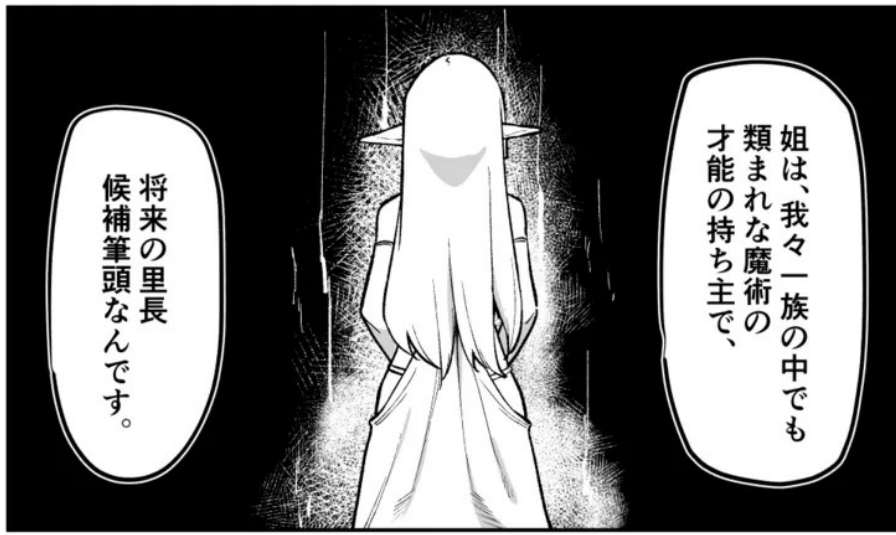
どうしてか?
断るのどうが!?!





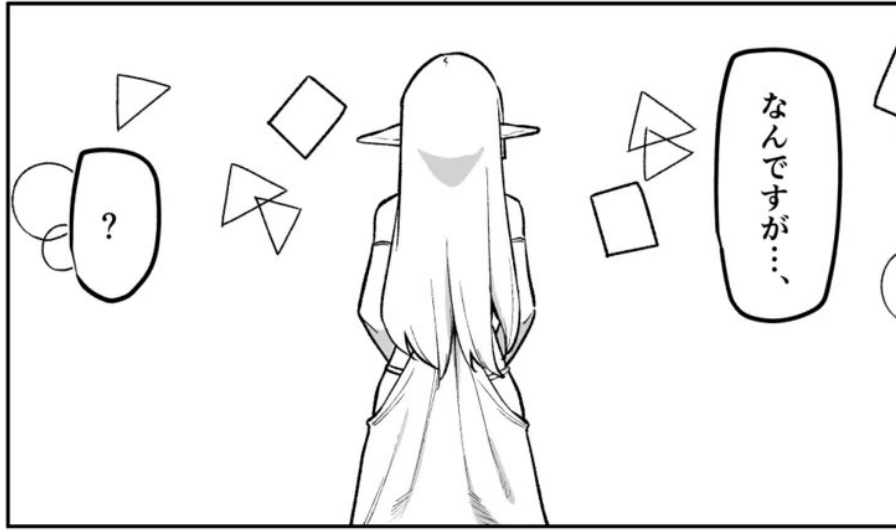
お互い名前すら
名乗っていなかった二人。





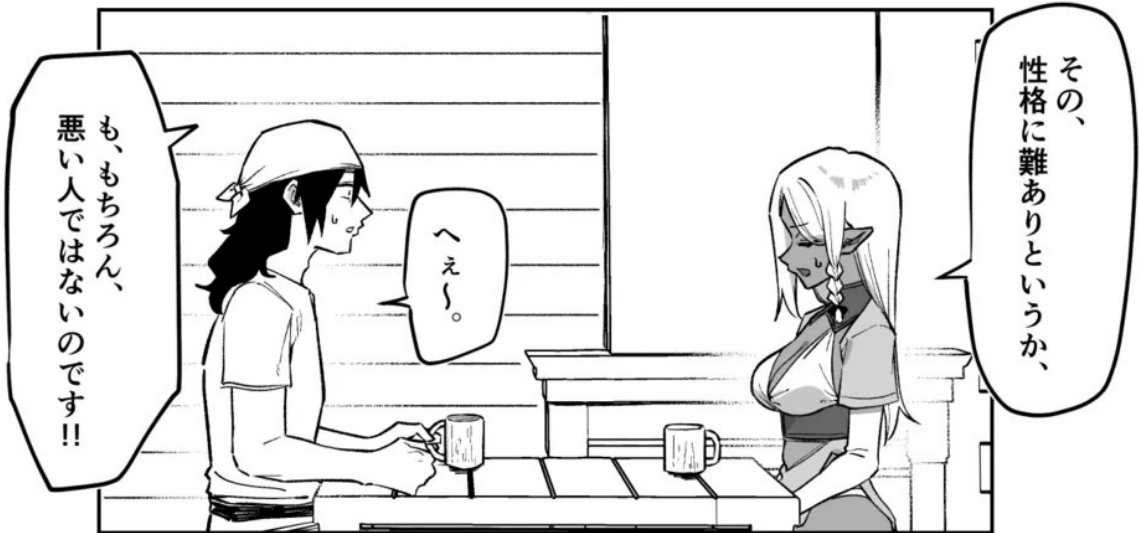
姐は、我々一族の中でも
類まれな魔術の
才能の持ち主で、

将来の里長
候補筆頭なんです。



なんですが…

?



その、
性格に難ありというか、

へえ。

も、もちろん、
悪い人ではないのです!!



ただ、自由奔放と言いますか
マイペースと言いますか…。

私、ちょっと旅してくるね!!
そのうち帰るから!

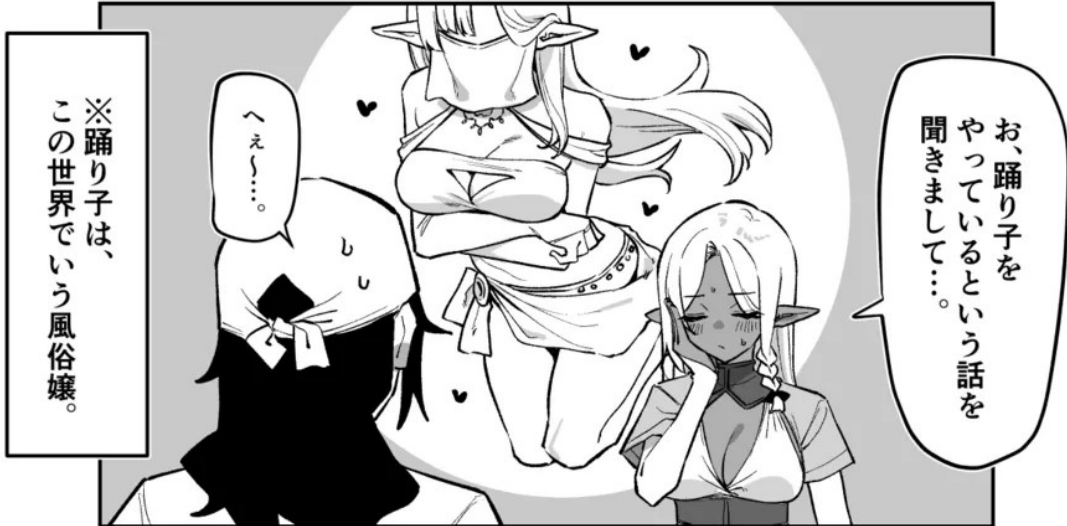
ね、ねえさま!?

あ。



その後、何年経っても
便りが無く、
行方知れずだったので、

風のうわさで、
その、



お、踊り子を
やっているという話を
聞きまして…。

※踊り子は、
この世界でいう風俗嬢。

へえ…。



一族の品位に
関わるといふことで、

あの不届きものを
早く連れ戻しなさい。

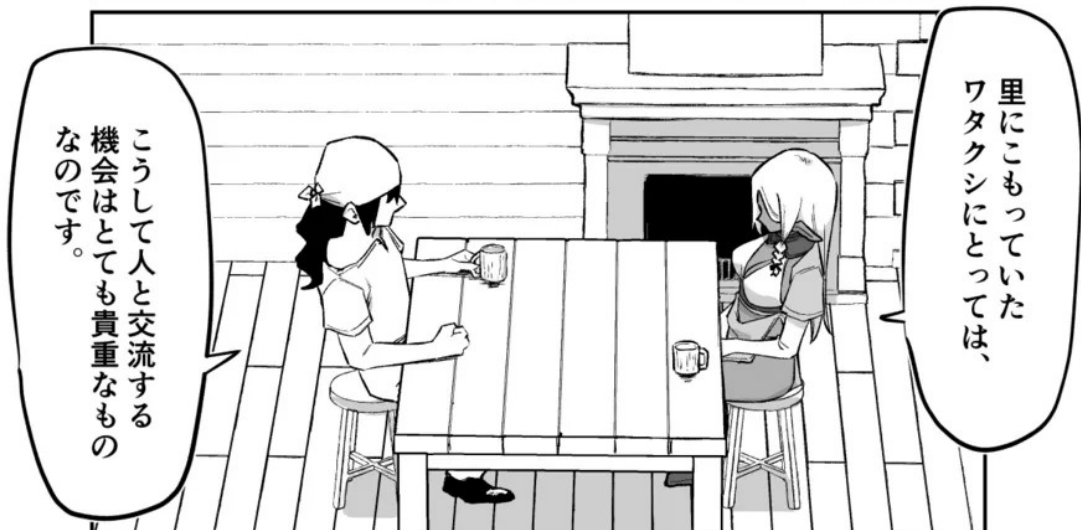
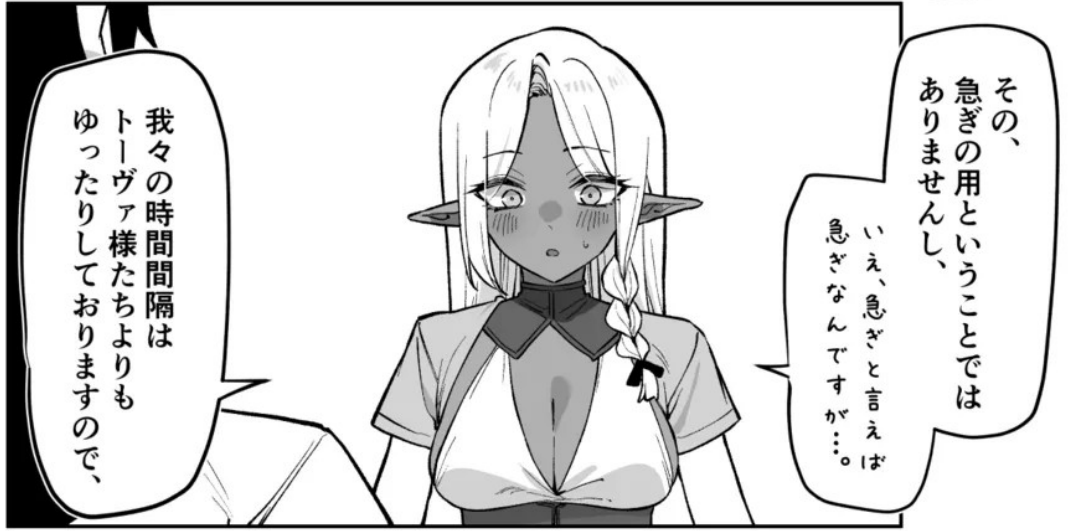
ハイ。

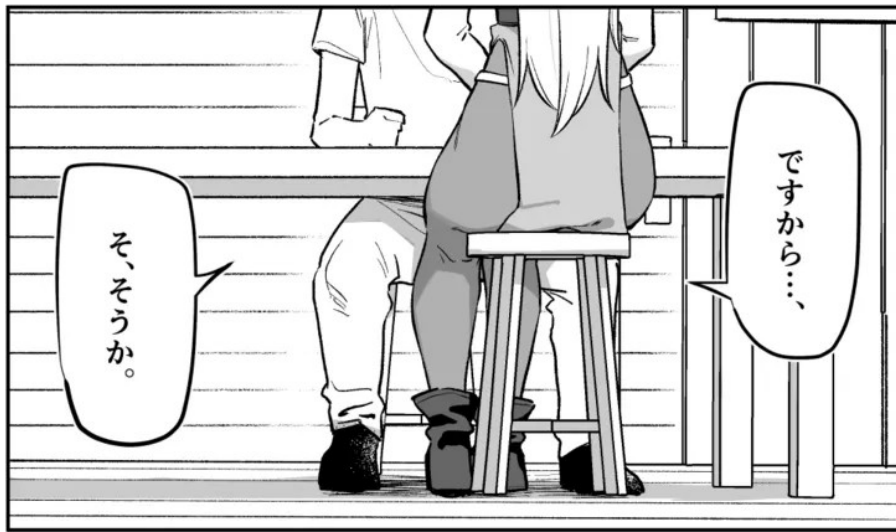
ワタクシが連れ帰るための
旅に出されたのです。



なるほど。
そりゃ、大変だな。

いえ…、
お恥ずかしい限りです。





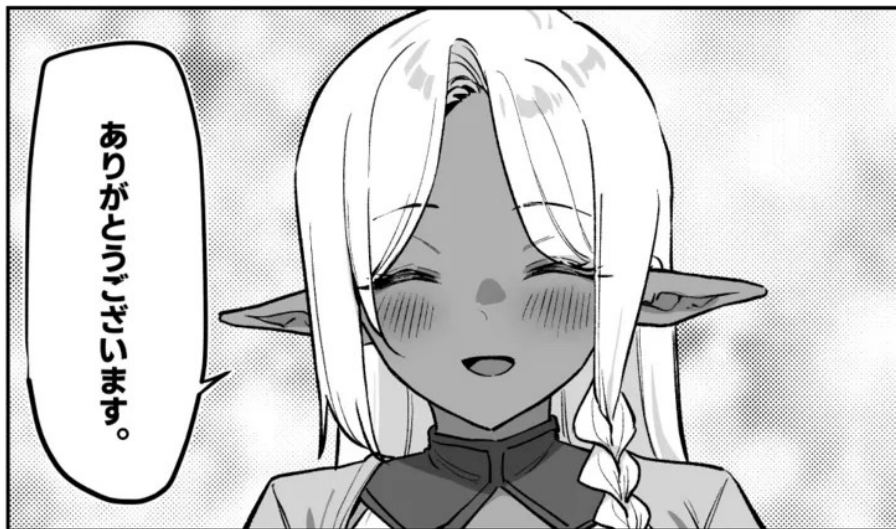
そ、そうか。

ですから…

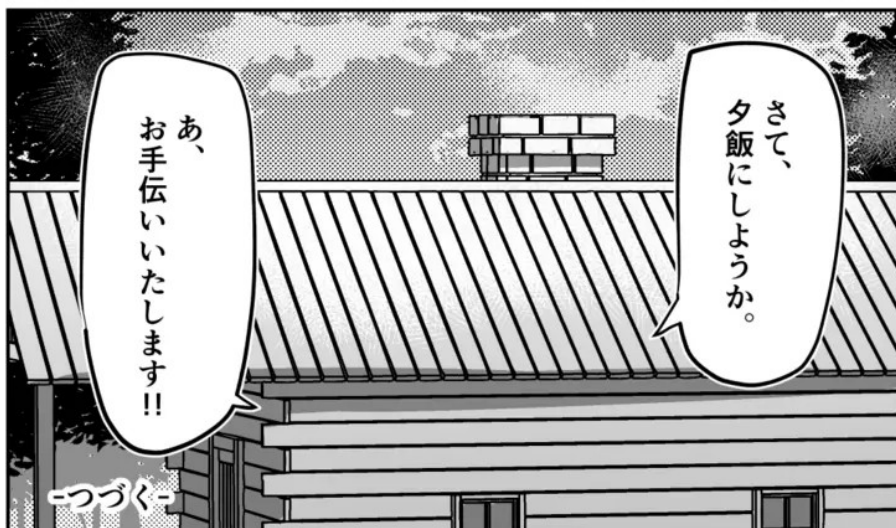


好きただけ
いてくれたらいいから…さ。

まあ、
こっちは、



ありがとうございます。



あ、
お手伝いいたします!!

さて、
夕飯にしようか。

つづく

褐色エルフ
設定イラスト

- ・7:11
- ・丁寧
- ・巨乳
- ・由緒正し...

エリンドリア (Erindia)

エリー





Back





ト・ギ? (Tova)

・薬師

